

Hello! FUJISEI

No. 133

高齢社会の到来で長くなった老後生活、そのための生活資金はやはり国民年金や厚生年金などの公的年金が中心になるのでしょうか、さらに自助努力として自ら準備すべき額はどのくらい必要となるのでしょうか。

厚生労働省が発表した「平成23年高齢年金受給者実態調査」の結果から、高齢年金受給者の収入や支出の実態を見てみましょう。

それによると、受給者本人の公的年金(共済組合の年金、恩給を含む)の年金額階級別構成割合は、男性で

高齢年金受給者の収入と支出

平均収入額は男性が297万円、女性128万円

は「200~300万円」が36.2%で最も多く、次いで「100~200万円」26.4%となっています。また、女性では「50~100万円」が39.9%、「100~200万円」が28.1%でした。

公的年金を含めた収入全体では、男性は「200~300万円」が30.9%で最も多く、次いで「300~500万円」25.3%で、平均収入額は297.1万円でした。一方、女性は「100万円未満」が51.3%と過半数を占め、平均収入額は128.5万円でした。

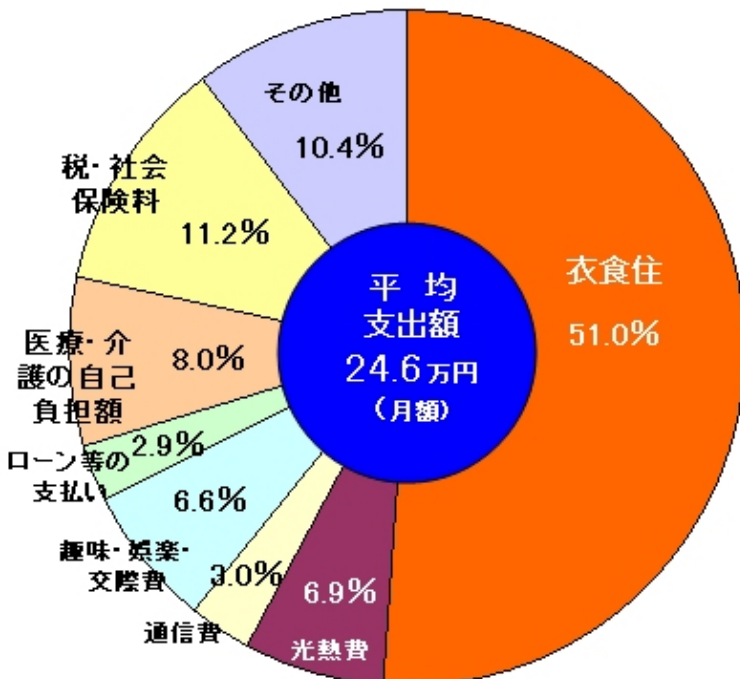
収入総額に占める公的年金の割合の平均は、男性74.6%、女性86.6%

となっていますが、公的年金以外の収入がない人は62.1%でした。

支出項目別に本人および配偶者の各支出が支出総額に占める割合の平均をみると、「衣食住」が最も多く51.0%で、以下「税・社会保険料」11.2%と続き、「医療・介護の自己負担」も8.0%となっています。

繰上げ受給の状況とみると、男性では9.3%、女性では22.8%が繰上げ受給をしています。その理由は、男性は「繰り上げないと生活できなかった」(2.4%)、女性は「減額されても、早く受給する方が得だと思った」(4.1%)がそれぞれトップとなっています。

本人および配偶者の支出総額に占める支出項目別割合の平均



性別・本人の年齢階級別 本人の公的年金収入の収入総額に占める割合の平均

	男性	女性
	%	%
合計	74.6	86.6
64歳以下	46.9	64.0
65~69歳	71.3	84.2
70~74歳	79.8	90.5
75~79歳	87.4	93.8
80~84歳	90.3	94.9
85~89歳	89.9	95.1
90歳以上	83.8	95.2